

セブン
7A

私たちの
スローガン
です

Adolescent 思春期保健の推進
Abortion 安全な人工妊娠中絶
Access どこでも誰もがサー
ビスを受けられる
Advocacy 啓発・提言活動
AIDS STI及びHIV/エイズの予防
Ageing 高齢化社会対策
Abuse 児童虐待の防止

家族と健康

Reproductive Health

JFPA
ジャファ

一般社団法人

日本家族計画協会

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp
発行人:北村 邦夫 編集人:三橋 裕行 毎月1回1日発行

謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます

一般社団法人 日本家族計画協会

理事長 北村 邦夫

専務理事 三橋 裕行

職員 一同

読者の皆様におかれましては健康に新年を迎えにいられたことお慶び申し上げます。日頃から、本会の活動に格段のご高配を賜り心から厚く御礼申し上げます。

新時代を我々は
なおも進む

令和の時代がスタートし、昨年10月22日に「陛下即位礼正殿の儀」が行われた。その直前まで激しく降っていた雨がやみ、皇居を囲むかのように虹が出た瞬間を目の当たりにし、言葉では表すことのできない感動を覚えた。新しい時代の到来が、国内外の諸課題をもろとも解決してくれることを強く願った。

しかし、残念ながら、現実はその簡単ではない。内憂外患という言葉があるが、季節はずれの「桜」が国会を大きく揺るがしている。消費税増税の陰で、貧困と合わせて居場所のない子どもたちの姿が目には止まる。児童虐待・DVや、あおり

運転による危険行為など極悪非道な事件が後を絶たない。近隣諸国である韓国、北朝鮮、中国、ロシアとの関係にも危うさを感じさせる。

一方、地球の温暖化がさらに加速していると報告されている。まさに、我々が生息している地球の危機が迫っているとも言える。日本各地で起こ

った、台風や豪雨など甚大な被害をもたらした自然災害も地球温暖化が影響している可能性は高い。そんな中、スウェーデンから一人の少女が立ち上がり、声を挙げ、SNSでの拡散もあってか、世界の多くの人々を揺り動かしている。在りし日、我が国の家族計画運動を推進しようともくろんだ「若い機関車」の

新春によせて

リプロダクティブ・ヘルスの課題を一つでも解決できる年に

本会理事長 北村 邦夫

1954年に創設された本会の前身である「日本家族計画普及会」が目指してきた「Every Child a Wanted Child」(生まれてくる子は皆待ち望ま

ることは誠に憂慮すべきことである。子宮頸がんに限ってみれば、1日10人が死亡している計算に及ぶ。これは、我が国の交通事故死亡者数にも相当する。本会は、HPVワクチンの開発に協力し、積極的接種奨励の再開を求めている。2019年の出生数は過去最低の90万件を割る可能性が

高いことなどを考えると、日本人のセックス離れ、もう少しソフトな言い方をすれば、人々との触れ合いが希薄になっている感を否めない。子宮頸がんや咽頭がん、肛門がんなどの一次予防を可能にするHPVワクチン接種の積極的奨励が2013年6月以来止まったままになってい

2019年11月29日、「母子保健法の一部を改正する法案」が参議院本会議で可決され、母子保健法第17条の2として産後ケア事業に関する条項が加えられることになった。同条は、出産後1年を経過しない母子が心身の状態に応じて、保健指導、療養に伴う世話、育児に関する指導、相談、その他援助を受けられるよう、支援体制の確保を目指すもの。市町村に定める日から施行される。



雪の中に咲く福寿草
(写真提供:一連合通信社)

追い風に乗り
さらなる躍進へ

昨年末には、出産後の母親への支援を拡充する改正母子保健法が成立、さらに子どもの健全な成長を後押しするため、母親の妊娠前から切れ目のない医療、福祉の提供を目指す成育基本法が施行された。リプロダクティブ・ヘルスの向上を推進する本会にとっては、このような法整備は追い風となっている。しかし、急増する女性の梅毒については筋肉注射という有効な治療法を承認させること、オンライン診療の次には緊急避妊薬のスイッチOTC化を実現させること、10代の若者に対して低用量経口避妊薬や緊急避妊薬を無料で提供できるようにすることなど、まだまだ課題は山積しており、その具体的な実現に向けて公益民間連動団体として役職員一同、ワンチーム」とな

2018年12月14日に公布された「成育過程にある者が図られるよう、ある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律(平成30年法律第104号、成育基本法)が19年12月1日に施行された。この法律は、児童虐待、貧困、産後うつなど、母子保健を取り巻く課題がある中、成育過程(出生に始まり、大人になるまでの一連の過程)

産後ケア事業 努力義務化

改正母子保健法

「母子保健法の一部を改正する法案」が参議院本会議で可決され、母子保健法第17条の2として産後ケア事業に関する条項が加えられることになった。同条は、出産後1年を経過しない母子が心身の状態に応じて、保健指導、療養に伴う世話、育児に関する指導、相談、その他援助を受けられるよう、支援体制の確保を目指すもの。市町村に定める日から施行される。

トピック 母子保健を支える二つの法律拡充が進む

子どもの権利を守り成育を保障する理念法施行

成育基本法

2018年12月14日に公布された「成育過程にある者が図られるよう、ある者及びその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律(平成30年法律第104号、成育基本法)が19年12月1日に施行された。この法律は、児童虐待、貧困、産後うつなど、母子保健を取り巻く課題がある中、成育過程(出生に始まり、大人になるまでの一連の過程)

広告

女性の健康を守る ～子宮頸がんから女性を守る～

令和
元年度

健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)併設集会
家族計画研究集会in千葉



パネルディスカッションでは登壇者が医療、教育の立場から意見を交わした

「患者年報」(日本産科婦人科学会)によると、20～30歳代で子宮頸がんによって子宮全摘出術または放射線療法を行う人は、年間約1200人。毎年、

長年、教育現場でのHPVワクチン啓発に携わっている赤澤氏が、高等学校で行った研究授業について語った。

まず、研究の一環で赤澤氏が毎年実施しているアンケート調査の結果を紹介した。この調査は、生徒を対象に子宮頸がん

とHPVワクチンに関する認知度や基礎的な知識を問うものである。2010年では子宮頸がんの認知度は女子が約60%、男子が約30%であった。その後、11年の東日本大震災時にテレビCMで知られるようになり、

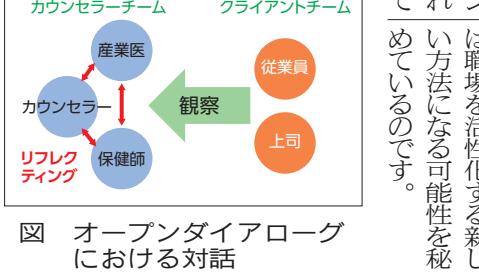
続いて、生徒らが子宮頸がんについて正しい知識を持つために赤澤氏が考案した二つの授業プログラムを解説した。

一つは「認知的アプローチ」である。これは医学的知識を身に付け、生徒自らが状況判断し、具体的な予防行動を選択・意思決定して行動するよう導くもの。問答法によって授業が進められる。

二つめは「情意的アプローチ」である。これは「シナリオ・ロールプレイ」により、家族の一人ががんになった設定で対話することで学習する方法。子宮頸がんについて具体的な内容を分かっている生徒も、シナリオに沿って話を進めること

で理解できるといふ工夫がされている。疾病によって直接的・間接的にもたらされる事態をシナリオから知り、感じ、情動を刺激された結果、疾病の回避や予防への欲求が高まり行動が促される、という狙いがある。

実施した結果は、新たに考案した授業プログラムは通常行われる授業に比べ有意な効果が認められた。特に、最初に「情意的アプローチ」、次に「認知的アプローチ」という順序で組み合わせただけでなく、さまざまなメンタルヘルスの問題に有効であることが分かってきた。私たちのグループでは職場不応の問題にも活用できないか、模索を回か繰り返している。



日本における子宮頸がんの状況は、1970年以降、検診の普及もあって罹患率が減っていたが、2000年を境に急増に転じた。近年の傾向として20～40歳代が罹患年齢のピークであり、晩婚化・晩産化が進んだ日本においては、第一子出産前に罹患することが多くなったと上田氏は指摘する。「妊娠・出産と重なる時期に罹患が多い」ということは、赤ちゃんを子宮を一度に失うような症例も出てくる。その時に考えなければならぬのは、将来の妊娠の可能性も全て失ってしまうことだ」と語った。

「患者年報」(日本産科婦人科学会)によると、20～30歳代で子宮頸がんによって子宮全摘出術または放射線療法を行う人は、年間約1200人。毎年、

長年、教育現場でのHPVワクチン啓発に携わっている赤澤氏が、高等学校で行った研究授業について語った。

まず、研究の一環で赤澤氏が毎年実施しているアンケート調査の結果を紹介した。この調査は、生徒を対象に子宮頸がん

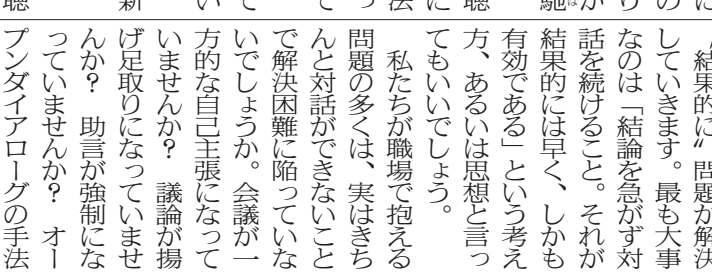
とHPVワクチンに関する認知度や基礎的な知識を問うものである。2010年では子宮頸がんの認知度は女子が約60%、男子が約30%であった。その後、11年の東日本大震災時にテレビCMで知られるようになり、

続いて、生徒らが子宮頸がんについて正しい知識を持つために赤澤氏が考案した二つの授業プログラムを解説した。

一つは「認知的アプローチ」である。これは医学的知識を身に付け、生徒自らが状況判断し、具体的な予防行動を選択・意思決定して行動するよう導くもの。問答法によって授業が進められる。

二つめは「情意的アプローチ」である。これは「シナリオ・ロールプレイ」により、家族の一人ががんになった設定で対話することで学習する方法。子宮頸がんについて具体的な内容を分かっている生徒も、シナリオに沿って話を進めること

で理解できるといふ工夫がされている。疾病によって直接的・間接的にもたらされる事態をシナリオから知り、感じ、情動を刺激された結果、疾病の回避や予防への欲求が高まり行動が促される、という狙いがある。



上田 豊氏/産婦人科診療や学生教育を行う。婦人科がんの基礎的研究・臨床的研究や疫学研究にも取り組む。特に子宮頸がん検診やHPVワクチンの普及に力を入れている。

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

「子宮頸がんから女性を守る」

2019年11月8日、本会が主催する「令和元年度家族計画研究集会」が千葉市民会館(千葉県千葉市)で開催され、「女性の健康を守る」子宮頸がんから女性を守る」をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われた。当日は、医師、看護職ら約150人が参加した。

田氏は注意を促した。検診で行われる細胞診では「感度(異常の人を検出する率)が50～80%。残り20～50%は本来、異常であるにもかかわらず陰性と判定している可能性がある。一方、特異度(異常でない人を判定できた率)が70～90%。つまり、正常なのに10～30%が余分な検査を受けさせられる」という。

また検診で前がん病変が見つかり、円錐切除術による治療を行う人は年間に約1万1千人。早期治療ができて、手術した場合、その後妊娠・出産したとき、1.5～3倍も早産が起こる。さらに、早期治療を行うものとして受診率の低さがある。上田氏は、「一番受けてもらいたい20歳代

の受診率が3割にも満たない」と語った。そして、「やはり検診のみでは不十分である。一方、HPVワクチンによる予防のメリットがある。原因となるウイルスの感染自体を予防するもの。2価・4価のHPVワクチンとともに6割程度の子宮頸がんを予防する効果があり、前がん病変すら起こらない、円錐切除しなくていい、という状態にする役割がある」と解説した。

今後、日本では積極的接種勧奨が中止された世代で罹患患者数・死亡者数が増えることが予測される。例えば、2000～02年度生まれの人は、将来約1万2千人、本来予防できたのに罹患し、約3千人が防げたのに死亡する。03年度生まれは、

現在16歳となり接種対象年齢の最後の年に当たるが、将来4383人が予防できたのに罹患し、1084人が命を落とすことになるという。

こうした積極的接種勧奨の中止による負の影響を軽減するには、速やかな勧奨再開はもろろん、①対象年齢を超えてしまった女子に接種機会の提供②頸がん検診の受診勧奨を強化③9価ワクチンや男子への接種の早期導入④行動経済学を利用したワクチンの再普及⑤メディアへの正確な情報の提供が求められる」として「われわれ自身もそれぞれの立場で子宮頸がんの身近さ、重篤さ、ワクチンや検診の大切さを周囲に伝えていく必要がある」と結んだ。

「あなたの職場で活躍するメンタルヘルス」全6回
第5回 オープンダイアローグ
～問題解決の新しい手法～

米沢 宏

「また「他人にはそう見えるのか!」「そう思う考えもあったのか!」と自分では意識していなかった考えに気付くこともあります。さらにさまざまな「声」を聴くことで、「こういうことならできそうだな」などと選択肢が広がるような効果も期待できます。」

「このように会話が広がり、また深化することで『結果的に』問題が解決していきます。最も大事なことは「結論を急がず対話を続けること。それが結果的には早く、しかも有効である」という考え方、あるいは思想と言ってもいいでしょう。私たちが職場で抱える問題の多くは、実はきちんと対話ができないことで解決困難に陥っているというところ。会議が一方的な自己主張になっていませんか? 議論が揚げ足取りになっていませんか? 助言が強制になっていませんか? オープンダイアローグの手法は職場を活性化する新しい方法になる可能性を秘めているのです。」

海外情報クリップ

◆選手の性別に関わる課題

男性ホルモンとして知られているテストステロンは女性の体内でも作られており、また逆に女性ホルモンのエストロゲン

は男性の体内でも作られています。しかしその量が男女で大きく異なります。

テストステロンは女性の性機能や運動機能を高めることが分かっています。スウェーデンのカロリンスカ大学の研究グループは「テストステロンが健康な女性の運動能力を高めることができるか。その場合、どのような運動能力をどの程度向上させるのか」を無作為化試験で検討しました。被験者女性(18〜35歳)の半数にテストステロンの半数にテストステロン

女性アスリートのテストステロン値

東京都不妊・不育ホッ トラインでは、お電話を いたいただいた方全員に「こ の電話を何で知りました か」とお尋ねしています が、最近ほとんどの方が「インターネットか ら」とお答えになりま す。今や、世の中のほと んどの人が携帯電話やパ ソコンを持つ時代にな りました。インターネット 環境があることが前提、 スマホなしでは生活で きない、という人も多い ようですが、ただそれな どの情報が身近なものに なっているということに しょう。分らないこと は何でも「ググる」とす ぐ答えを得られるのは、 確かに便利ですね。

東京都不妊・不育ホッ トラインでは、お電話を いたいただいた方全員に「こ の電話を何で知りました か」とお尋ねしています が、最近ほとんどの方が「インターネットか ら」とお答えになりま す。今や、世の中のほと んどの人が携帯電話やパ ソコンを持つ時代にな りました。インターネット 環境があることが前提、 スマホなしでは生活で きない、という人も多い ようですが、ただそれな どの情報が身近なものに なっているということに しょう。分らないこと は何でも「ググる」とす ぐ答えを得られるのは、 確かに便利ですね。



で見ると、介入群で15・2㍻(パワー)増加、対 照群で3・2㍻増加しま したが有意差はありませ んでした。次に筋肉量の 増減を試験前と試験終了 後で調べたところ、介入 群では9.23㍻増加、対 照群で1.35㍻増加しま した。これらの結果か ら、テストステロンの少 量投与で有酸素運動能の 向上と、筋肉量の増加な どが見込まれると研究者 らは結論付けました。

経口避妊薬と うつ症状

◆使用中止の原因にも

経口避妊薬(OC)が 使用され始めた頃から注 目されていたことに「O Cを使用すると女性の気 分が変動することがある ……」

一定の基準(上限値)が 規定されています。しか し、女性を自認する選手 が先天的に体内で作られ るテストステロンが多い 場合など、選手らが不公 平にならないようにす るための対応が課題とな っています。

参考

Hirschberg AL, et al. Br J Sports Med 2019 Oct.

のか?あるいは気分の 変化はOCとは無関係な のか?という疑問があ りました。

オランダは早くからO Cが使用され始め、現在 使用率は7割を超えてい ます。また、オランダで は「思春期男女の個人生 活調査(TRIALS)」 と呼ばれる社会調査が2 001年から3年ごとに 実施されています。男女 の精神・身体の発達過程 をモニターしているこ の ……

男性の クラミジア感染

◆オーストラリアの

不妊研究グループから オーストラリアで不妊 治療を提供するモナシ ユIVF(体外受精)グ ループと、クイーンズラ ンド生殖医療グループは 共同で、男性不妊の原因 に関するある調査を行 いました。男性患者のほ とんどは精子数が極めて 少ない無精子症であるこ とを確認しました。

クラミジア感染症は、 女性の不妊原因になるこ とは以前からよく知られ ています。しかし男性不 妊の原因になる可能性に ついてはあまり研究され ていません。男性がクラ ミジアに感染しても約半 数は症状がないといわれ ており、このことが感染

性が高い思春期のOC開 始はうつ症状を引き起 こしやすいことが示唆さ れています。

オランダのライデン大 学とグロニンゲン大学精神 医学部の研究グループ は、気分の変化やうつが 理由でOCの使用を中止 する場合があるので、思 春期の女性に処方する場 合には気分変動の可能性 を念頭に置くことが重要 だとコメントしました。

参考

de Wit AE, et al. JAMA Psychiatry 2019 Oct.

を拡大する原因の一つに もなっています。

クイーンズランド大学 免疫学教授のケン・ビー グレイ氏は「通常、クラ ミジア検査は尿サンプル を使っているが、男性の 場合は尿検査では見逃さ れる可能性がある。今回 の研究結果から見ると、 精巣でクラミジアが見つ かった患者の3人中2人 は尿検査で陰性であっ た」と説明しました。共 同著者でモナシユIVF グループのロバート・ マックララン氏は「男 性の精子の質が低下する 理由については、化学療 法薬の副作用が影響する 可能性などの他はよく分 かっておらず、今後の研 究が待たれる」と述べて います。

参考

Bryan ER, et al. Hum Reprod 2019 34(10). 【翻訳Offic e Ob-Gyn】

電話相談

●思春期・FPホットライン
☎03(3235)2638

●東京都不妊・不育ホットライン
☎03(3235)7455※火曜日のみ

●EC・OCコール
☎03(3267)1404

●EC・OCヘルプデスク
☎03(6280)8404

電話相談員募集!
上記の相談に応じる専門家を募集中です。平日の昼、市谷にお越しただけの方。詳細は、☎03(3235)2694



東京都不妊・不育ホッ トライン相談員
佐々木 良枝

広告

産婦人科医による性の健康教育「私のキーワードはこれだ！」

KEY WORD 58

性の健康教育は産婦人科医として最も大切な義務

新甲さなえ女性クリニック(広島県広島市)院長 新甲 さなえ

思春期・女性の
健康のための啓発活動を

最近では、思春期の健康教育と共に、子宮頸がん検診・HPVワクチンの必要性や更年期のヘルスケアなどについても幅広く啓発活動を行うようになりました。

以前は苦手であり気が進まなかったメディア関連の依頼も、一度に多くの方々に興味を持っていただける手段として、行政関係や議会との「顔の見える関係」が太いパイプに育ち、さまざまな取り組みや問題点を直接提起できるようになりました。

広島県における性教育の推進

さて、広島県の性教育においては、2年前に県医師会、教育委員会、助産師会、そして産婦人科医会が協力し、誰もが利用できるDVDがようやく完成しました。内容はまだまだ未熟で、作成の段階で画像や言葉遣いなどいろいろと制限をかけられた結果、伝えたいことの半分ぐらいいし盛り込まれておりません。

今後、徐々にアップデートが必要ですが、何より教育委員会が重い腰を上げ、初めて同じ土俵でがっぷり四つのディスカッションができたことが、広島にとって大きな一歩でした。

性の健康教育は最重要の義務

これまで産婦人科医の役割は、病気を治すこと、世界一安全・安心な周産期医療を維持することとして、日々研さんを積んできました。しかし、医師になって30年を過ぎた今、私の役割は病気を治すことではなく、あまりにも知られていない女性の体のこと、ホルモンのこと、この社会情勢がもたらす多くの弊害のことなど、生涯のヘル

年が上がることにレベルアップする形でつながりがある講義ができるようになったため、内容がずいぶん充実し、生徒さんたちの理解も深まってきたように感じています。

また、避妊や中絶手術の方法など、性に関する日本の常識が実は世界の非常識であることも伝えていきます。

このような形をモデルケースにして、将来県内の中学・高校に定着できればうれしい限りです。

母子保健指導員研修会のご案内

本研修会では、母子保健に携わる保健師・助産師・看護師等の方を対象に、8月を除く毎月第2火曜日に、研修会を開催しています。

ご入会の方法は下記をご覧ください。
http://www.jfpa.or.jp/mother_child/

3月 第504回
産後のこころの問題と対応のコツ
【日時】2020年3月10日(火) 10時～12時 (13時15分～15時は総会)
【内容】健診時に見るべきポイント／声の掛け方や留意点など
【講師】松井 康絵先生 (東京都立大塚病院 神経科／日本橋産業保健研究所)

【会 場】TKP市ヶ谷3階 (東京都新宿区)
【対 象】保健師、助産師、看護師等の有資格者
【参加費】会員…無料 非会員…当日参加4千円 (会員以外で参加希望の方は、必ず、本会HPにある専用申込書で事前にお申し込みください)
【問い合わせ・申し込み】TEL 03(3269)4785 FAX 03(3267)2658



12月の人 | 新甲 さなえ

1986年、広島大学卒業後、同大学産科婦人科学教室入局。大学病院、土谷総合病院、国立病院機構呉医療センターなどでの勤務を経て、2007年、広島市南区に新甲さなえ女性クリニックを開設し現在に至る。医学博士、日本産科婦人科学会専門医、母体保護法指定医。

第22話 中ピ連が乱入 「ピルを解禁せよ」

「家族計画」(1973年11月1日号)の1面に飛び込んだ「中ピ連が乱入」混乱の家族計画自由集会(※現家族計画研究会)の文字が目が釘付けになった。全国から1800人ほどの指導者が参加して、国立教育会館虎ノ門ホール(千代田区)で盛大に開かれたのは73年母子保健・家族計画全国大会。その第1日目の日程終了後の午後5時からニッショール(港区)で、日本家族計画連盟主催の「家族計画を考える」自由集会が開催された。その会場に、ピンクのヘルメットをかぶった女性約30人が乱入。いきなり「ピルを解禁せよ」と書いた垂れ幕を持って演壇に駆け登ったため、同連盟の男性職員に制止されたという。



騒ぎが収まった20分後に、代表者である榎美沙子氏にやっとマイクが与えられ、ピル解禁と避妊の方法を巡って、演壇の講師と激しいやりとりが行われたが、一方的な主張を繰り返すだけで議論はかみ合わず、午後6時、全員引き上げていった。

「ウィキペディア」によると、中ピ連とは「中絶禁止法に反対しピル解禁を要求する女性解放連合」の略称で、70年代前半に活動した日本のウーマンリフ団体である。代表は元薬事評論家の榎美沙子氏。新左翼のものを模した「♀」印のついたピンク色のヘルメットと過激な活動内容でメディアをにぎわせ、当時の社会現象となった。72年6月18日結成。当時日本では、経口避妊薬(ピル)が薬事法で規制され、厚生省の医療用医薬品に認められていなかった。これを女性への抑圧と解釈し、ピルの販売自由化要求運動を展開した。メディアを利用する派手な活動形態や、政党・宗教団体の結成など実現可能性の低いアイデアを提案したが会員離れが加速し、だんだんと活動が下火になっていった。

筆者は、このような「中ピ連」の動きが、わが国におけるピル承認への道を閉ざしてしまっただけではないかと危惧している。政治家への糾弾、「内閣はすべて女性とする」「公務員はすべて女性とし、男性は臨時職員かアルバイトとする」など女性主義的な政策を掲げていた中ピ連。これがピルを過激な女性のイメージを増幅させてしまったとは言えないだろうか。

広告